

新大会新・リンク 菊池2位 男子1000三井V、女子1000金井2位

【鹿沼校力向上対策本部】が今大会々々種目の優勝。男子1000では、鹿沼大(大)がリンク新と大会新をマークして2位に入ったほか、女子1000では三井愛未(八学大)が2位となった。

【鹿沼校力向上対策本部】が今大会々々種目の優勝。男子1000では、鹿沼大(大)がリンク新と大会新をマークして2位に入ったほか、女子1000では三井愛未(八学大)が2位となった。

【鹿沼校力向上対策本部】が今大会々々種目の優勝。男子1000では、鹿沼大(大)がリンク新と大会新をマークして2位に入ったほか、女子1000では三井愛未(八学大)が2位となった。

菊池「いい形で今季終えた」

○男子1000の菊池太(鹿沼大)は、13分14秒のリンク新、大会新をマークして2位。「リベンジも出たし、いい形でシーズンを終えられたと充実感を覚えました。今季は体力の低下を懸念して来たというレースでは4000のリンクを克服する持久戦をものにした。最後まで安定したラップを維持し、2位だった。5000が伸びた分、相関係数的に伸びたのかな」と感想を寄せた。

来季の目標は自身初の全日本選手会への出場。「トップ選手との差を縮めたい、もう少しタイムが必要。さらに一歩踏み上げ目指したい」と意気込みを語った。

【男子1000】鹿沼大の菊池太は、13分14秒のリンク新、大会新をマークして2位。写真はリンク競技の様子。



【女子1000】1分26秒57で2位に入った金井愛未(八学大)

【女子1000】1分26秒57で2位に入った金井愛未(八学大)は、1分26秒57のタイムで2位。リンク競技の様子。

三井2冠 内容は不満

○三井愛未(八学大)は、女子1000で2冠を挙げた。内容は不満を覚えた。レース内容はかなり不満がある」と前向きなコメントを残した。

経験者で、指導を助いでいる一戸大選手から「新たな挑戦をしてほしい」という言葉をもらった。来季はW杯出場を目指して、今のタイムでは世界で戦う選手と並べたい。選考会を乗り越え、トレーニングに励みたい」と白を言い立てた。

【女子1000】三井愛未は、女子1000で2冠を挙げた。内容は不満を覚えた。レース内容はかなり不満がある」と前向きなコメントを残した。

【女子1000】三井愛未は、女子1000で2冠を挙げた。内容は不満を覚えた。レース内容はかなり不満がある」と前向きなコメントを残した。

【女子1000】三井愛未は、女子1000で2冠を挙げた。内容は不満を覚えた。レース内容はかなり不満がある」と前向きなコメントを残した。